



# 黒川中だより

胎内市立黒川中学校 令和6年度 第2号

令和6年5月31日発行 Tel. 0254-47-2425

教育目標 「自ら学び 鍛え合おう 心豊かに たくましく」  
目指す生徒像 「ふるさとを愛し、正しい心を持ち、主体的に行動する生徒」

山小屋と北島選手と（下越総体に向けた激励を込めて）

校長 佐藤 光

冬山で猛吹雪に遭遇したときの話です。登山者は誰しものが山小屋に避難しようと必死になります。そして何とか山小屋を見付けられても、山小屋の目の前で亡くなってしまいうケースがかなりあったようです。この現象は人間の脳の特徴に起因しています。脳は山小屋にたどり着くことを目標に必死に活動していると、山小屋を見つけた時、目標が達成されたと勘違いします。山小屋が目に入って「よかった、たどり着いた」と思い、ほっとして力尽きてしまうのだそうです。大事なことは、例えば「山小屋の中に入って、家族に電話をかけて安心させる」とか「あったかいスープを飲んで体を温める」など何でもいから、次にやるべきことが思い描けるかどうかとのことです。

かつてオリンピックで2大会連続金メダルに輝いた北島康介さんのメンタルトレーナーで精神科医の林成之さんが北島選手に次のように言葉をかけました。

「人はゴールが近づくと、もう大丈夫だと脳が勝手に解釈してしまい、力が抜けてしまう。(アメリカの)ハンセンをライバルだと思っちゃいけない。自分を高めるためのツールだと思いなさい。そして、最後の10メートルをKゾーン(北島ゾーン)と名づけて、水と仲間になり、ぶっちぎりの、感動的な泳ぎを見せる舞台だと思いなさい。」

このアドバイスを受けた1か月後に北島選手は世界記録を塗り替えることになります。当時流行語となった「チョー気持ちいい」はこの助言がなかったら生まれなかったかも知れません。

脳には「生きたい」「知りたい」「仲間になりたい」という3つの根源的な本能があります。この3つの本能に逆らうことをやると、脳のパフォーマンスは急激に落ちます。相手(ライバル)に「勝つ」というより「仲間になるために追いつく」と考えるべきなのでしょう。

同じような教訓は学校で習う古典にもあります。『徒然草』に「高名の木登り」という話があるのですが、聞いたことはあるでしょうか。木登り名人と言われている男が、ある男を指導して枝を切らせる時のことです。高い木に登らせて枝を払わせ、大変危なく見えるうちは一言も言いません。払っている間には危ないこともあったのですが、何も言わないのです。その後、その男が木を降りる途中、ちょうど家の軒先の高さと一緒にくらいになった時に初めて声をかけました。軒先程度なのでそれほど高くはないのですが、「失敗しないでください。注意して降りてください」と。すると近くにいたある男が「これくらいの高さなら飛び降りたっていいくらいなのに、なぜそのようにおっしゃるのですか?」と尋ねました。名人は「そのことでございます。目がくらくらするほどの高さで枝打ちが危ないようなところでは、人は恐怖心がございます。ですから私は何も申しません。失敗というものは、安全と思える頃になって、人の慢心につけ込んで起こることなのでございます。」と答えました。この名人は地位や教養には恵まれていませんでしたが、話すことは、徳の高い人の教えとまったく同じだったという内容です。

「あと一つ」となったタイミングで集中力が持続できるか、その後すべきことをイメージできるか、相手に敬意を払い、仲間になろうとする気持ちが強い方に運命の女神は微笑むのかも知れません。



# 5月の学校の様子

## 1年生 校外体験学習(樽ヶ橋遊園) 5/2

「郷土の自然、施設に接することによって、郷土を愛する心を養う」ことをねらいの1つとして活動しました。午前中は奉仕活動として園内の整美活動をしました。午後からは園の説明を聞き、見学をしました。どの生徒も熱心に活動し、地域の良さを自分達で高める大切さと達成感を味わうことができました。



【園内の整美活動や仕事をする様子】



【楽しい思い出も作りました】

## 2年生 新潟巡検学習(新潟市内) 5/2

「県都・新潟市のまちづくりや、企業・施設の訪問・見学や事後発表等による情報を収集、分析、検討する活動を通して、故郷・黒川の地域性や未来に関心を持ち、自分の将来の生き方について考えを深める」ことをねらいの1つとして活動しました。自分たちで決めた目的地に公共交通機関などを利用して移動したり、公共の場のルールやマナーを守って活動したりすることで3月の修学旅行の練習にもなりました。



【班別自主研修の様子】

## 3年生 中庭の草むしり 5/2

1、2年生が校外学習をしている時に、3年生は全校生徒のために、中庭の草むしりを熱心に行いました。午後の日差しが強い時間でしたが、どの生徒も一生懸命に活動し、中庭をととてもきれいにしてくれました。3年生の皆さん、ありがとうございました。



# 小中連携あいさつ運動 5/10

5月10日（金）、黒川小学校で小中合同のあいさつ運動が行われました。中学校からは生徒会本部の生徒と生活委員長が参加しました。CS委員などの地域の方々と一緒に、元気で気持ちの良いあいさつを行うことができました。



## 【一緒に参加した地域の方々からのメッセージ】

- 元気に挨拶ができていました。
- 7時半前から集合していて、元気に挨拶をがんばっていました。
- 今日はたくさんの方が玄関にいたので、びっくり顔の子が多かったけど、元気な「おはよう」が聞けました。ありがとう！！
- 大きな声であいさつしていて、小学生のお手本になっていました。優しく低学年の子に声をかけている姿もありました。

## 生徒総会 生徒会スローガン『瞬花集灯（しゅんかしゅうとう）』

生徒総会が5月22日（水）に行われました。総会では今年度の活動方針の説明や、生徒同士の活発な意見交換が行われました。今年度の生徒会基本方針やスローガン、本部・専門委員会・部活動の目標や活動計画、予算案等が承認されました。

スローガンの意味は「1年間はあっという間に終わってしまいます。そして、そのあっという間の1年間の中にも色々なことがあると思います。みんなで協力し困難を乗り越えて、一人一人が一つ一つの違う花を咲かせ、全校生徒の力を集め、光り輝く黒川中学校をつくり上げていこう」という願いがこめられています。



【議案書を見る生徒】



【図書委員長の説明】



【質問する3年生】

# 「幸せの黄色いレシート」へのご協力ありがとうございました

イオン株式会社様より、「幸せの黄色いレシート」によるご支援をいただきました。買い物をした際に渡される黄色のレシートを、地域の皆様が「黒川中学校」の箱に入れてくださることによって当校への支援になるものです。

今年度は、ソフトバレーボール6個、卓球ラケット9個を購入させていただきました。昼休みに生徒が友達と楽しく遊んでいる様子があります。今後の学校生活で活用させていただきます。皆様からのご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



【昼休みの様子】



## 黒中生の活躍

生徒の普段の活動の様子は、学校ホームページでも紹介しています。随時、更新しているので、ぜひご覧ください。



### <ソフトテニス>

- 春季市民ソフトテニス大会 兼 市内中学生大会
- 男子団体 第2位
- 女子団体 第2位
- 男子個人 第3位 河内 葵・高橋 優心ペア

## 6月の主な予定



※ 部活終了18:00 完全下校18:15

3日(月) 衣替え完全実施日	13日(木) 基礎学力テスト <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">英語</span>
5日(水) 下越地区大会激励会 (保護者参観) スクールカウンセラー来校日	17日(月) 諸経費振替日
6日(木) 基礎学力テスト <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">数学</span>	19日(水) 生徒朝会
7日(金) 下越地区総体(1日目) <b>給食なし</b>	21日(金) 下越地区総体(2日目) <b>給食なし</b>
10日(月) 胎内市あいさつキャラバン隊来校	22日(土) 下越地区総体(3日目)
12日(水) 生徒会専門委員会 耳鼻科検診	25日(火) 2年生職場体験学習(～27日)
	27日(木) 3年生上級学校訪問
	28日(金) 全校朝会